

2024年度 一般社団法人奈良県バスケットボール協会 基本方針

《基本方針》

- 1 スポーツ団体ガバナンスコードに基づき、適正なガバナンスの確保のために、県協会組織及び加盟団体等のガバナンス構築をさらに推進し、バスケットボールファミリー全員がバスケットボールの価値を高めるために協力する。
- 2 スポーツの主役はプレーヤーという「プレーヤーズセンタード」を念頭に、プレーヤーの心身の健全な発達に寄与するとともに、暴力行為等の根絶に向けたコンプライアンス意識を醸成する。
- 3 健康的な生活の一環として、各種感染症のリスクにも配慮しつつ、生命・健康の安全を最優先とし、バスケットボールの歩みを止めず、バスケットボール活動ができる環境を提供する。
- 4 第85回（2031年）国民スポーツ大会の決定を受け、中長期的視点による組織基盤強化とともに、将来有望な選手の支援体制を継続し、指導者のレベルアップや育成センター・リーグ戦の充実を図る。

《重点実施事項》

- 1 管理運営担当
 - (1) 総務部
 - ア 社員総会・（常務）理事会の円滑な運営
 - イ 暴力行為等の根絶に向けたコンプライアンス意識の醸成
 - (2) 財務部
 - ア 協会全体の適切な会計処理を維持
- 2 渉外事業担当
 - (1) 渉外部
 - ア 協賛企業等の積極的な開拓
 - イ 広報活動や会報作成による情報発信の推進
 - (2) 事業部
 - ア Wリーグ事業の企画と運営
 - イ バンビシャス奈良と各カテゴリーとの連携事業の企画と運営
 - ウ 協賛スポンサー事業及び寄付活動等収益化事業の推進
- 3 競技運営担当
 - (1) 競技部
 - ア 2031年度開催の国民スポーツ大会実施に向けた組織強化

- イ 大会運営マニュアル作成
- ウ 競技会における重大なトラブル防止策の徹底
- (2) T O 部
 - ア 全国T O 委員会の活動
 - イ 近畿T O 委員会の活動
 - ウ 全国統一T O マニュアルの共有
 - エ 県内各カテゴリーT O の普及、育成及び強化
 - オ 近畿ブロックT O の普及、育成及び連携強化
 - カ T O のライセンス制度導入（JBA）を受けて、県T O ライセンス取得者の登録推進（2031年の国民スポーツ大会実施に向け組織体制強化）
- (3) 記録報道部
 - ア 協会に関する情報のWEB ページへのスムーズな掲出
- (4) 審判部
 - ア 審判員の登録推進（発掘・育成）
 - イ 判定基準の統一（マニュアルを作成）
 - ウ 審判インストラクターの登録推進（2031年の国民スポーツ大会実施に向け組織体制強化）
- (5) 3x3 部
 - ア 3x3 奈良県大会の発展に努めるために、チーム及び競技者の登録推進
- 4 強化統括担当
 - (1) 強化部
 - ア 成年男子
 - ① U18 世代の育成と招聘
 - ② 地元大学（天理大学）へ協力要請
 - ③ U16 カテゴリーとの連携と一貫指導体制の構築
 - ④ コーチ陣の育成と専門性の強化
 - イ 成年女子
 - ① U18 世代の育成と招聘
 - ② 地元大学（奈良学園大学と天理大学）へ協力要請及び協力企業の模索
 - ③ U16 カテゴリーとの連携と一貫指導体制の構築
 - ④ コーチ陣の育成と専門性の強化
 - ウ 少年男子
 - ① U15、U16 カテゴリーの連携

- ② U16DC を活用した育成及び強化
 - ③ U15 からU18 カテゴリーとの連携と一貫指導体制の構築（成年男子との連携）
 - ④ コーチ陣の育成と専門性の強化
- エ 少年女子
- ① U15 とU16 カテゴリーとの連携
 - ② U16DC を活用した育成及び強化
 - ③ U15 からU18 カテゴリーとの連携と一貫指導体制の構築（成年女子との連携）
 - ④ コーチ陣の育成と専門性の強化
- (2) 指導者養成部
- ア ライセンスコーチの普及と促進
 - イ 各種講習会と研修会の充実
 - ウ 女性コーチの育成
- (3) ユース育成部
- ア U12
 - ① U12 育成センター事業の定着
 - ② U14 との連携、選手の発掘及び育成
 - ③ 指導者の育成、育成マインドの定着
（正しい技術の習得と楽しさを強調した指導）
 - イ U14
 - ① U14 育成センター事業の定着
 - ② U12 とU16 との連携、一貫指導の構築
 - ③ 選手の発掘・育成・強化
 - ④ 指導者の育成、育成マインドの定着
（技術や基本の習得と自らの判断でプレーする習慣）
 - ウ U16
 - ① U16 育成センター事業の定着
 - ② U12 とU14 との連携、一貫指導の構築
 - ③ 選手の発掘、育成及び強化
 - ④ 指導者の育成、育成マインドの定着
（技術や基本の習得と自らの判断でプレーする習慣）
- (4) 医科学部
- ア 競技力向上、障害予防及び体力向上のための研修会開催の検討
 - イ 本県競技者の体格、体力、スキル等のデータ収集をユース育成と連携し実施する。

5 アンダーカテゴリー

(1) U12

ア チーム登録及び競技者の登録推進

① 各年度1チーム増、1チーム1人増

イ ターゲットエイジの普及及び育成

① U10大会の充実

② 指導者研修会の充実

③ 普及活動の促進

ウ 暴力・暴言の根絶、モラル向上

(2) U15

ア U12からU16への継続指導

イ U15競技会の運営体制の確立

ウ 登録、移籍についての周知徹底

(3) U18

ア ウインターカップ予選及びリーグ戦の運営体制の確立

6 一般カテゴリー

(1) 社会人連盟

ア 社会人連盟のより良い運営（会議、大会運営等）

イ 大会の運営

ウ WEBページの充実

(2) バンビシャス奈良

ア B1昇格に向けた体制整備

① 売上向上（4億円以上）

② チーム強化（B2プレイオフ進出）

③ アリーナ建設計画推進

イ アンダーカテゴリー体制整備、その他

① U18、U15運営体制確立

② アリーナ建設に向けた協力体制